

2月

スクールカウンセラーだより

No81

新生野中学校スクールカウンセラー 大和 誠一

暦の上ではもう春と言いますが、寒い日が続きますね。

2月の4日が立春で3日が節分です。節分といえば「鬼は外、福は内」と言いながら豆まきをしたものですが、子どもが大きくなってからはまるでなくなってしまいました。

店先に、炒った大豆と鬼のお面が売っているのを見て懐かしい思い出に浸っています。

子どもが大きくなるとなぜ豆まきをしないのか深く考えもせずやめてしまいました。子ども達は、豆まきなど幼い子のすることだと思えるようになったのだろうと、親が勝手に思い込んでいたのです。



子どもが小さい頃は、社会の「しきたり」や「常識」などを教えるのが親の務めだと必死になってやってきたように思います。また別の形で「ピアノをした方がいいよ」「スイミングは体にいいから」と子どものためにいろんなことをすすめました。

今にして思えば、もっと話し合って決めることが必要だったと思っています。

青年期の子ども達は、今まで親や社会が一方向的に伝達してきた「常識」をそのまま受け止めるだけではおかしいと感じるようになります。何がどのようにおかしいのかは言葉で説明することが難しいため、不機嫌な行動として表現することがあります。

このことは「なぜ親の言うことを聞かなくてはいけないのか」「なぜ勉強しなくてはいけないのか」と今まで声に出せなかった疑問を不機嫌な行動で表していることから分かります。そのため、普段から理解しあえる話し合いが大切なのでしょう。

子どもの教育は、知っている者から知らない者への一方向的な知識の伝達に重点が置かれ、自分の思いや感情を相互に伝え合うことが少ないように感じられます。

人は、自分の思いや感情を表現したいという欲求を持っています。それが今日、SNSの広がりにつながっているのでしょう。SNSの前に家族や地域社会がその役割を果たせるようになりたいものです。

理解しづらい子どもの行動の相談に、スクールカウンセラーをご利用ください。

相談室の案内

日時：2月3、10(この日だけ13時まで)、17、24日

3月3日(すべて金曜日) 10時～17時

対象：児童、生徒、保護者

申込：教頭先生か担任、あるいはスクールカウンセラーに予約を入れてください。

TEL 6757-1421

生徒のみなさんへ

みなさんは、時々「なぜ勉強しなければいけないのだろう」と疑問に思ったことはありませんか。いい成績^{せいせき}をとって、いい学校へ行って、いい会社に入るためと一般^{いっぱん}には言われています。だから、自分のために勉強^{べんきょう}するんだよ、と多くの人は言います。

でも、別に^{べつ}自分のためなら、しなくてもいい、と思っている人は、勉強などしなくなるでしょうね。苦しい思いをして過ごすよりは、今好きなこととして楽しく暮^くらしたいと思っている人も勉強^{べんきょう}などしないでしょ。

勉強するのは自分のためだと思っているから、そんな好き勝手^{すきかっぺ}なことが言えるのです。

実は、^{じつ}「勉強は人のためにする」のです。

だって勉強すれば、親が喜ぶでしょう。先生も周りの人も喜びます。それに、

お医者さんは、手術^{しゅじゅつ}を失敗しないように勉強する。あなたは、勉強しない下手^{へた}な医者^{いしや}に手術^{しゅじゅつ}してもらいたいのですか？

運転手^{うんでんしゅつ}は、正確で安全な運転技術を勉強する。あなたは、よく事故を起こす運転手の乗り物^のに乗りたいですか？

建築士^{けんちくし}は、地震^{じしん}に耐える家の強度^{きやうど}を計算で求める。どんな計算をしていいのかわからない人が作った家に安心して住^すめますか？

このようにみんな人のために勉強しているのです。そして、勉強^{べんきょう}したことがみんなから感謝^{きんしや}され喜^{よろこ}ばれます。自分もうれしくなります。

苦しいと思っていた勉強も、人のためにする勉強は、楽しいものです。

中学校時代の勉強は、世の中に出てどんな役にたつの？と疑問^{ぎもん}に思うことばかりでしょう。ほとんど役に立たないと思う人が多いでしょう。ただ、勉強をするということが大切^{たいせつ}なのです。脳^{のう}は、行動^{こうどう}（勉強する等）によって発達^{はったつ}するからです。

疑問^{ぎもん}に思うことがありましたら、カウンセリングを利用してください！！

